

城南家保ニュース Vol.29-1 1

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

メールアドレス jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/kahojounan>



香川県で本シーズン初の高病原性鳥インフルエンザ発生！

香川県さぬき市の肉用鶏養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）が発生しました。

国内における高病原性鳥インフルエンザの発生状況（平成29年11月以降）



発生年月日：平成29年1月11日

飼養羽数：約51,000羽及び

関連農場約40,000羽

血清型：H5N6（高病原性）

処分方法：焼却

殺処分終了：1月12日 19:30

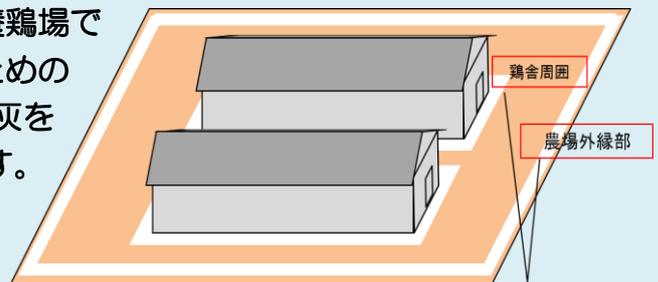
防疫措置終了：1月14日

移動制限解除：2月4日 24:00

今回の発生の特徴として、発生鶏舎の死亡鶏の急激な増加が認められなかったことから、ウイルスの増殖性が低い可能性があります。また、農研機構動物衛生研究部門での解析結果では、今シーズンに国内に少なくとも2種類のH5N6亜型ウイルスが侵入していることが判明しており、野鳥でも発生が確認されているため、野鳥が運ぶウイルスが養鶏場に侵入しないように警戒が必要です。

今回の香川県での発生を受け、熊本県では養鶏場での高病原性鳥インフルエンザ発生を予防するための緊急的な対応として、県下の全養鶏農場に消石灰を配付し、緊急消毒を実施することとしています。生産者の皆様におかれましては、石灰到着後、導入・出荷など鶏の飼養状況を考慮し、速やかに消石灰散布を実施してください。

また、野鳥及び野生動物侵入防止対策（ベルト・バーコンベアーを金網で囲う、隙間に金網を詰める、ダクトや飼料ラインと鶏舎壁面の隙間をパテで埋める）を再度、ご確認いただきますようお願いいたします。



幅1m以上散布



H29年度 家畜衛生伝達講習会が開催されました

平成30年1月19日、熊本県庁にて家畜衛生伝達講習会開催され、当所からは加地参事が講師として、今年度、農研機構動物衛生研究部門で受講した「獣医疫学特殊講習会」の内容を発表しました。本講習会は、国の家畜衛生講習会や県独自の自主企画研修で受講した内容を県内の獣医師等に広く伝達する主旨で毎年開催されています。

獣医疫学とは、家畜保健衛生所が通常行っている検査にも活用されており、また、2010年の宮崎県での口蹄疫発生を受け、様々な条件を数理モデルとし、発生のシミュレーションを行うことで、現在の口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針の策定に応用されている等、家畜衛生対策の根拠となっている重要な手法です。

先日開催された家畜保健衛生業績発表会で加地参事が発表した「有用菌を指標とした哺乳子牛の腸内フローラ分析と疫学的考察」でも、本手法を活かし、独自に設定した指標による解析を行っています。

受講する講習会は様々な内容があります。受講した内容を活かし、地域講習会等でも伝達していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。また、ご要望等あればお聞かせください。



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国	1月10日	牛、羊	O型
アフリカ豚コレラ	ロシア	12月6日	豚 いのしし	
高病原性 鳥インフルエンザ	台湾	1月17日	採卵鶏	H5N2
	韓国	1月27日	採卵鶏	H5N6

平成30年2月1日時点

編集後記 (M.M)

例年になく、寒さ厳しい折、皆様、お風邪など召されていませんか？

人吉球磨地域は人のインフルエンザ患者数が急増しており、警報レベルに達しているとか。私達が農場を訪問する際も、農場主さんがインフルエンザにかかったとか、関係機関の方がかかったとかお聞きします（家保の職員は一人もかかってません(^_^)v）。

鶏についてもとうとう香川県でHPA Iが発生しました。発生農場の防疫作業も体力勝負です。また、家畜の健康観察するにも農場主が健康でなければ観察に行けません。

どうぞくれぐれもお体に留意し、今シーズンを乗り切りましょう。